

公表される感染者数は無機質なデータではありません。コロナにかかり苦しみ不安を抱く生身の人の数です。その方には心配する家族や友人らがいます。誰もが感染する可能性があります。非難や差別はやめましょう。



秋田県PTA連合会 会長 加賀屋 久人



横手市立大森病院 院長 小野 剛



秋田県知事 佐竹 敬久

NO! コロナ差別



様々な誹謗中傷やいじめがありますが、新型コロナウイルスに関しては、非常に悪質で、人間の尊厳を傷つけられるひどいものがあります。言つてゐる本人は気に留めてないと想いますが、相手を追い込むことになっていますので、やめてもらわないと大変です。また、地域のイメージや移住定住、企業誘致などにも悪い影響が及びます。

小野大森病院長 当院では、1月にクラスターが発生しました。その際、職員や家族に対して「学校に出てくるな」「職場に出てくるな」「バーで買い物をするな」というような誹謗中傷があります。

医療従事者も職場を離れてしまえば、地域医療の崩壊にもつながりかねません。ぜひ県民の皆様には差別的な言動はやめていただきたいです。

今回のクラスターの発生で分かったことは、地域の皆さん、正しくない情報を基にいろんな言動をしているといふことです。正しく理解し・恐れ・対応する。そして、お

いです。

PTA連合会では「感染した方々には優しさをウイルスと戦うすべての方々に感謝を」ということで、感染者や家族、濃厚接触者らに対する偏見や差別、SNSでのバッシングはやめましょうということ、医療・物流など暮らしを支える方々への理解を深め、感謝をしましょう」ということを発信しています。

感染者に的確な対応ができるかどうかで地域のイメージが左右されるということは、そのとおりだと思います。

コロナにかかりたくてかかる人は誰もいませんので、互いを思いやる気持ちをもつて当たつていかなければならぬと思います。

角崎さん(学生) 私の周りでは聞いたことはありませんが、新聞やニュースなどで県内でも誹謗中傷があることはあります。誰もコロナにかかりたくてかかるわけではないのに、地域に居づらくなってしまうなどということはあってはいけないと思います。地方では噂がすぐに広まってしまいます。正しいとは言えません。

若者の間ではSNSが普及しているのですが、匿名で簡単に誹謗中傷ができる面があります。私も日々の生活でSNSを利用する際に注意して、知らない間に誹謗中傷をしてしまいます。

秋田弁護士会 塚本祐文 秋田県は自然が豊かで、働くにはとてもいい場所だと思います。このような素晴らしい県が、誹謗中傷でイメージが悪化してしまうと、秋田で働きたいと思ってている人

や県内に進出しようとする企業にそのイメージが伝わってしまいますので、絶対にしてしまうことがあります。このように迷惑がかかると思い、接觸者について話さないなどの事例があります。

小野大森病院長 残念ながら医療従事者であつても間違つた認識をしている方もいます。互いにマスクをして距離をとり、短時間の接觸であれば感染リスクは少ないことを認識していただきたいため、まわないよう責任をもつて行動しています。

県内学生 角崎歩美 秋田弁護士会 塚本祐文 秋田県は自然が豊かで、働くにはとてもいい場所だと思います。このような素晴らしい県が、誹謗中傷でイメージが悪化してしまうと、秋田で働きたいと思っている人や県内に進出しようとする企業にそのイメージが伝わってしまいますので、絶対にしてしまうことがあります。このように迷惑がかかると思い、接觸者について話さないなどの事例があります。

秋田弁護士会 塚本祐文 誹謗中傷を恐れ、具合が悪くても医療機関に相談せず悪化すると、周りに迷惑がかかると思い、接觸者について話さないなどの事例があります。感染ルートを追跡できず断ち切りができなくなったり、結果として感染が広がることになります。感染症対策も阻害されますので、誹謗中傷を防ぐ運動の理解が得られよう、しっかりとやつていかなければならぬと思います。

秋田弁護士会 塚本祐文 誹謗中傷を恐れ、具合が悪くても医療機関に相談せず悪化すると、周りに迷惑がかかると思い、接觸者について話さないなどの事例があります。感染ルートを追跡できず断ち切りができなくなったり、結果として感染が広がることになります。感染症対策も阻害されますので、誹謗中傷を防ぐ運動の理解が得られよう、しっかりとやつていかなければならぬと思います。

コロナによる偏見や差別を許さない社会を

新型コロナウイルス感染症 誹謗中傷防止対談

こうした権利侵害があつた場合、民事的な責任として慰謝料などの損害賠償責任が考えられます。また、刑事上の責任を負うこともあります。名譽毀損罪や侮辱罪が成立したとなれば業務妨害罪ともなりえます。ただ、民事・刑事の責任追及は事後的な対応です。不当に差別された事実は消えませんし、人の記憶を消すことできません。特にネットの影響力は昔前のピラーや張り紙とは比べ物になりません。大事なのは差別や誹謗中傷の発生を予防していくことです。こういった啓発活動を通じて社会全体の意識が高まれば、未然に防ぐことにつながるのではないかでしょうか。

ただ、民事・刑事の責任追及は事後的な対応です。不当に差別された事実は消えませんし、人の記憶を消すことできません。特にネットの影響力は昔前のピラーや張り紙とは比べ物になりません。大事なのは差別や誹謗中傷の発生を予防していくことです。こういった啓発活動を通じて社会全体の意識が高まれば、未然に防ぐことにつながるのではないかでしょうか。

ただ、民事・刑事の責任追及は事後的な対応です。不当に差別された事実は消えませんし、人の記憶を消すことできません。特にネットの影響力は昔前のピラーや張り紙とは比べ物になりません。大事なのは差別や誹謗中傷の発生を予防していくことです。こういった啓発活動を通じて社会全体の意識が高まれば、未然に防ぐことにつながるのではないかでしょうか。

PTA連合会では「感染した方々には優しさをウイルスと戦うすべての方々に感謝を」ということで、感染者や家族、濃厚接触者らに対する偏見や差別、SNSでのバッシングはやめましょうということ、医療・物流など暮らしを支える方々への理解を深め、感謝をしましょう」ということを発信しています。

PTA連合会では「感染した方々には優しさをウイルスと戦うすべての方々に感謝を」ということで、感染者や家族、濃厚接触者らに対する偏見や差別、SNSでのバッシングはやめましょう」ということを発信しています。

PTA連合会では「感染した方々には優しさをウイルスと戦うすべての方々